

膵神経内分泌腫瘍に対する 新しい治療法を行っています

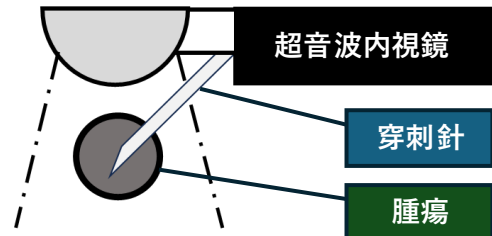
愛知医科大学病院・肝胆膵内科では、
膵神経内分泌腫瘍を有する患者様を対象とした新規低侵襲治療を自由診療として行っています。

■ 超音波内視鏡ガイド下エタノール注入療法

超音波内視鏡ガイド下エタノール注入療法は、超音波内視鏡を使って、腫瘍を確認しながら針で腫瘍を穿刺し、エタノールを注入することで腫瘍細胞を壊死させる治療法です。



超音波内視鏡で描出された膵神経内分泌腫瘍



腫瘍穿刺のイメージ

■ 超音波内視鏡ガイド下エタノール注入療法への期待

- ・膵神経内分泌腫瘍の治療の基本は外科切除ですが、膵切除を行わずに膵機能を温存しながら治療できる可能性のある方法として、エタノール注入療法が開発されました。
- ・この方法は内視鏡下で治療を行うため、痛みや侵襲（体への負担）が少なく短時間で可能であり、手術による合併症や膵切除による糖尿病等の発生を回避できる可能性があります。
- ・しかし有効性・長期の予後については現段階では十分なエビデンスがなく、再発の有無等を慎重に経過観察する必要があります。

■ 超音波内視鏡ガイド下エタノール注入療法の対象となる方

- ・周囲のリンパ節や他の臓器へ転移を認めていない膵神経内分泌腫瘍の方
- ・腫瘍径が20mm未満でかつ低悪性度の方

※その他の基準により対象とならない場合がございます。

※自由診療となりますので、治療にかかる費用は全額患者さんのご負担となります。

本治療にかかるおおよその概算費用・・・約50万円

（もし合併症が起きた場合は合併症に関する治療費用も全額患者さんのご負担となります）

■ 治療ご希望の方

治療の詳細や適応の可否についての相談は随時受け付けております。愛知医科大学病院・肝胆膵内科にご受診頂くか、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先

愛知医科大学病院
肝胆膵内科 井上 匡央

電話番号: 0561-62-3311 (代表)

メールアドレス:

inoue.tadahisa.501@mail.aichi-med-u.ac.jp